

佐藤 昇 風景画展



休日の採土場(陶土) 1982年

平成29年

7/22 土 ▶ 8/27 日 9:00~17:00
(入館は16:30まで)

会場 朝倉文夫記念文化ホール

入館料 一 般 / 400(320)円 小中高生 / 無料

※カッコ内は 20 名以上の団体料金 ※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者福祉手帳提示者とその介助者 1 名は無料



「グループ・29会」のメンバーたち(2013年)

同時開催: グループ・29会展

出品作家: 清水和雄・末光慎治・手嶋哲也・中尾敬吾・花崎宏志・宮崎喜恵・吉田陽二(50音順)

主催: 豊後大野市(朝倉文夫記念館)、大分合同新聞社
後援: OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、エフエム大分、大分ケーブルテレコム
協力: グループ・29会、一鶴会(大分県立大分舞鶴高等学校 1 期生)
問合せ: 朝倉文夫記念館 〒879-6224 豊後大野市朝地町池田 1587-11
TEL.0974-72-1300 / FAX.0974-72-1302

佐藤 昇 風景画展

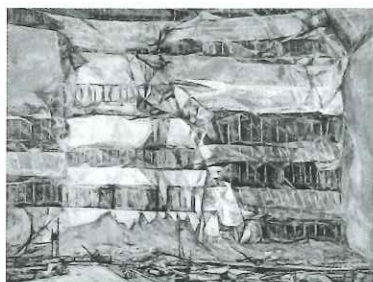
同時開催：グループ・29会展

佐藤 昇(さとう のぼる)は、1936(昭和 11)年大分市生まれ。1954 年、大分大学学芸学部に入學。武藤完一、浜田九一郎、仲町謙吉等の指導を受け、卒業後は小中学校の美術の教諭として教壇に立ちました。

在学中から、油彩画の制作に取り組み、1956 年、第 19 回県美展に初入選。以後、同展では奨励賞、会員努力賞、県美術協会賞等を受賞しました。また、この間の 1961 年には、第 27 回東光会展に初出品して、初入選。翌年には、大平敬次郎、脇坂秀樹等と東光会大分支部豊光会を結成し、退職後は一時創元会にも出品しました。

本展では、佐藤昇が 60 年を超す長い画業の中で、ひたすら描き続けた、採石場・採土場等を主な題材とした風景画約 40 点を一堂に展示し、佐藤がこだわり続けた独自の「風景画」世界の全容を紹介いたします。

また、1963 年、大分大学学芸学部の同期生と佐藤が結成し、重要な研鑽の場としたグループ・29 会の活動を紹介する「グループ・29 会展」を併せて開催し、佐藤が制作に勤しんだその状況を広く回想します。



「石灰岩と採石場」1965年
(大分市美術館蔵)



「壊(陶土)」1981年



「採土場 I (陶土)」1984年



「ガスタンクのある風景 I」1999年

佐藤 昇

さとう のぼる



《略歴》

- 1936 年 大分市に生まれる
- 1954 年 大分大学学芸学部入学
- 1956 年 第 19 回県美展に初入選
以後、同展で奨励賞、会員努力賞、
県美術協会賞等を受賞
- 1961 年 第 27 回東光会展に初出品、初入選
- 1962 年 東光会大分支部「豊光会」結成
- 1963 年 大分大学学芸学部の同期生と
「グループ・29 会」結成
- 1972 年 東光会会員となる
- 1995 年 東光会退会後、大分県美術展を中心に
作品発表を続ける
- 現在 大分県美術協会(日洋彫工部会) 委員

関連事業

(1) シンポジウム(ギャラリートーク)

日時：7 月 23 日(日) 13:30 ~ 15:00

会場：朝倉文夫記念文化ホール

コーディネーター：大分市美術館 美術振興課
参事補 大神健二専門員

(2) ワークショップ

①大人向け「風景画の描き方」

日時：8 月 5 日(土) 10:00 ~ 12:00

会場：朝倉文夫記念公園内 アトリエ朝

②子供向け「絵を描こう・デザインをしよう」

日時：7 月 30 日(日) 10:00 ~ 12:00

8 月 20 日(日) 10:00 ~ 12:00

※(1)(2)ともに参加料は無料ですが、入館料が必要です。

※お問合せ・参加申込は

朝倉文夫記念館 (0974-72-1300) までお電話ください。



朝倉文夫記念館

〒879-6224 大分県豊後大野市朝地町池田1587-11

tel.0974-72-1300 fax.0974-72-1302

URL: <http://www.bungo-ohno.jp/>

(「施設情報」より「朝倉文夫記念館」をご覧ください)